

いつも食べる純炭きよらをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。きよら通信担当のゆっきーです(*^^)v 風邪が流行りだすこの時期、腎臓に不安がある方は特に注意してほしい風邪薬について号外にてお知らせします。

え？市販の風邪薬ってダメなの？

風邪気味の時、薬局の市販薬を飲むことはありませんか？
この時期はCMでも沢山の風邪薬の宣伝していますよね。



有名メーカーの風邪薬だから大丈夫だろうと、安易に選んでいませんか？
市販の風邪薬の中には、腎機能の低下を招く原因となる成分が入っているので十分注意しましょう。

腎機能を低下させる成分『NSAIDs(エヌセイズ)』

エヌセイズ(非ステロイド性抗炎症薬の総称)は解熱鎮痛剤としてさまざまな風邪薬に入っています。しかし薬のパッケージには親切に“エヌセイズ”とは書いてありません。

流通量が多い代表的な“エヌセイズ”は…

- ・アセチルサリチル酸(商品名:アスピリンなど)
- ・イブプロフェン
- ・ロキソプロフェン(商品名:ロキソニンなど)
- ・ジクロフェナク(商品名:ボルタレンなど)



こんな総合感冒薬だと
“イブプロフェン”
というエヌセイズが入っています。

選ぶときは『アセトアミノフェン』だけの風邪薬を

おなじブランド名の風邪薬でも成分が違々な種類が出ています。
ちなみにこちらの風邪薬は腎機能に影響しないアセトアミノフェンだけのモノ。
でもそれ以外の成分って…？



こちらは解熱鎮痛剤として
“アセトアミノフェン”だけ
エヌセイズが入ってないタイプ



薬剤師さんに頼るべき

先ほど紹介した4種類のエヌセイズはなんとか覚えられても、
我々一般人には、それ以外の成分がエヌセイズなのか？
そうでないのか？なかなか判断できません。

ですので、病院にかかるほどではないけれど風邪薬を飲みたい、
そんな時は、安易に選ばずに腎機能に不安がある事を伝えて
薬局に常駐している薬剤師さんに選んでもらうようにしましょう。
基本的に腎機能に不安がある人は、誰でも買える市販薬でも
薬剤師さんに確認するのが必須です。おくすり手帳を活用して、
常時服薬している薬との飲み合わせや重複がないように確認
してもらいましょう。

冬場の数値悪化は風邪が原因のことも

風邪などの炎症が体内でおこると腎機能の数値が一時的に
悪くなる場合もあります。日頃から手洗いうがいマスクをして風邪
を引かないように気を付けていきましょう。

純炭粉末

公式専門店